

別紙

公開概要書

受付日	令和6年10月31日	回答日	令和6年11月25日	担当課	総務管財課
意見等の内容	<p>益田市において人口減少傾向。 今後の発展のための起爆剤として以下を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none">・高島にホテルの建設。(建設に伴う、発電施設設置、物資搬入確保等)・建設したホテルにて高級料理の提供。・高島観光の整備。(遊歩道の整備等)・高島にヘリポートの建設・石見空港からヘリコプターにて高島に顧客を輸送する便を設置。・関東の富裕層に高島の観光の案内。 <p>予想される効果…観光客からの収益</p>				
回答の内容	<p>高島の現状といたしましては、島根県において、昭和48年島根県の危険災害区域に指定により建築物の建築が禁止されました。その後、昭和50年に防災集団移転事業が適用され、全島民が本土へ集団移転いたしました。土地の所有についても、一部に旧鎌手小中学校跡地が本市の所有であります。現在でも大部分が島民の所有となっております。また、当該土地には損壊した建物や瓦礫が多く、土地の利用は極めて困難な状況であります。</p> <p>したがいまして、高島の現状と、集団移転した島民の心情等を考慮し、ご提案いただいた高島にホテル建設は難しいと判断いたしております。</p> <p>本市においても、人口減少対策は喫緊の課題であります。市内には、雪舟、人麿ゆかりの地や東中須原遺跡等の歴史的に貴重な遺産や、清流高津川を初めとする豊かな自然等、多くの観光資源を有しております。これらの資源を活かして、市内外から多く方にご来訪いただける観光施策を引き続き、重点的に進めてまいります。</p>				